











情報連絡員だより

－令和2年7月の報告より－

新型コロナ感染再拡大により

業況回復の期待感後退

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 <p>新型コロナウイルスの感染再拡大により業況回復への期待感は薄れ、今後を不安視する声が再び聞こえ始めている。唯一業況が安定していた窯業・土石製品も需要減により天気図が遂に「小雨」に転じた。また、非製造業を中心に長梅雨による悪影響もみられ、停滞感や閉塞感が色濃く漂う様子が窺える。</p>
製 造 業	食 料 品	 <p>パンは、気温の低さがプラスに働いたが、新型コロナが客足を遠のかせ前年並みの推移。菓子は、法事や祝事用のまとまった注文が入らない状況が続く。製麺は、一般家庭向けは好調だが、給食を含めた業務用の落ち込みが継続。酒造は、純米酒以外の売上が大幅減少。食肉は、肉食需要が堅調で、業況が安定している。</p>
	織 維 ・ 同 製 品	 <p>織物は、展示会・販売会などの開催の委縮ムードが続き、例年並みの売上確保が難しく、先行きも不透明。刺繍は、量産品の生産がかなり落ち込んでいる中、大手アパレルが来春夏商品について在庫で対応する方針を打ち出しており、今後、大幅な生産量の減少が予想される。</p>
	窯 業 ・ 土 石 製 品	 <p>生コンは、ほぼすべての地区で前年より出荷量が落ち込み、全体的に需要が減少。砕石は、八ッ場ダム関連や災害復旧工事により売上が増加したが、西毛地域が長雨の影響を受け、収益は全体的に前年並み。砂利は、需要に一服感がみられ、売上・収益ともに悪化。コンクリートブロックは、需要が低調気味に推移。</p>
	機 械 ・ 金 属	 <p>電機は、受注案件が出てきたものの、不調が続く。自動車関連は、SUBARU関係の生産量が前年比8～9割程度まで回復している様子。半導体関連は、家電向けは不調、パソコン向けは好調と受注状況に温度差がみられる。建設関連では、一部において回復している様子が窺える。</p>
	そ の 他 の 製 造 業	 <p>木材は、製品単価の値下げに歯止めがかからない中、長雨により出荷量減少。印刷は、新型コロナにより厳しい業況が続く、先の見えない状況を不安視。ゴム製品は、受注減により操業度が低調に推移し、V字回復は見込めない状況。紙加工品は、冠婚葬祭関係や輸出向けなどの需要が戻りつつあるが、業況は悪化のまま。</p>
	非 製 造 業	卸 売 業
小 売 業		 <p>家電小売は、長梅雨の影響で夏物商品が販売不振。生花小売は、巣ごもりで個人消費が拡大の反面、催物関係の需要は依然低迷。商店街は、イベント中止や新型コロナ感染再拡大により消費マインドが一層冷え込む。燃料小売は、販売価格・販売量ともに落ち込む。中古車オークションは、厳しい状況の中、成約単価上昇。</p>
サ ー ビ ス 業		 <p>温泉旅館は、県の宿泊費補助により前月に続き入込は回復するも、新型コロナの感染再拡大を受けてG o T o トラベル事業の利用は伸び悩み、翌月以降の影響を懸念している。不動産取引は、新型コロナ向けの金融支援策により資金繰りが好転している。自動車整備は、売上・収益ともに前年並み。</p>
建 設 業		 <p>建設工事は、公共工事の減少、民間需要の停滞傾向が続く。鉄構は、コロナ禍前に受注した物件が動いているが、今後、仕事量の減少を危惧。電気工事は、長梅雨や暑い時期のマスク着用などで作業環境が悪化。塗装工事は、新型コロナの影響による仕事量の減少に加え、雨による外仕事の遅延が多発し、資金繰り悪化。</p>
運 輸 業		 <p>家庭用食料品の荷動きも落ち着き、輸送量が激減する中、引き続き運賃は下落傾向となり、非常に厳しい状況が継続。野菜関連は、長梅雨の影響で日照不足となり、レタスやナスなどの生育が悪く、輸送量が大きく減少。小口配送は、医薬品や引越し需要は例年並みだが、スポット配送が前年に比べて半分ほどに減少。</p>